

令和4年度 第1回守山市健康づくり推進協議会

日時：令和4年7月26日（火）

午後2時から午後3時30分まで

場所：守山市立図書館 多目的室

1 出欠状況

(1) 出席者（10名）

岡村会長（リモートによる出席）、福田副会長、岡本委員、雁金委員、富田委員、藤本委員、中井委員、小林委員、高田委員、北野委員

(2) 欠席者（5名）

飯田委員、朝見委員、梶山委員、遠藤委員、黒橋委員

(3) 事務局（12名）

健康福祉部 沖田理事

すこやか生活課 森口課長、川中参事、金沢係長、百田主査、大朝主任保健師、中野歯科衛生士、岩波主任、大田事務員

地域包括支援センター 大寄係長

株式会社地域計画建築研究所 廣部氏、渡邊氏

(5) 傍聴者 なし

2 内容

(1) 開会

(2) 協議事項

※当日は、岡村会長がリモートによる出席のため、会議の進行については福田副会長が代行。

ア 令和3年度実績および令和4年度取組予定

発言者	内容
事務局	資料1、資料1-1について 説明
岡村会長	特に BIWA-TEKU の事業と推定野菜の摂取量の事業は、参加者をどのように集めるかが課題である。行政だけで参加者を増やすのは難しいので、どのように取り組めばいいのかなどについてご意見をいただきたい。
福田副会長	自分が所属する団体としてのご意見等があればお願いしたい。
雁金委員	自治会長会への説明をいただいているが、そこから下に降りていかない。自治会長会のみで諮っていただいても難しいので、できるだ

	け自治会に直接説明をしていただけると、ある程度は広がっていくのではないか。
事務局	自治会長会等では説明させていただいたが、具体的に細かい説明を自治会にはできていない状況なので、回覧板などの手段を通じて説明させていただきたい。
小林委員	6月に開催されたスポーツフェスティバルもりやまにて BIWA-TEKU チラシの配布、特にポッチャやゴールボールを実施した際に、参加者の方にチラシを通じて、BIWA-TEKU を通じた運動機会の拡大に取り組んだ。
藤本委員	推定野菜摂取量測定イベントは健康推進員も協力をしている。周知の徹底ができてない。これからも皆さんに声をかけながら進めていきたい。
富田委員	各自治会には健康福祉部会がある。その中で、健康に関する活動があることをサロンや老人会の集まり、ラジオ体操等の後に健康推進員と連携して周知活動はしている。ただ、どこかとコラボした取組までには至っていない。
高田委員	学校においても、検診の重要性はがん教育の一環として授業で紹介している。食育の中で、バランスよく食べるという教育はしているが、子どもなので自分から取り組んでいくということは難しいだろう。
福田副会長	中学生くらいになると、食事に関して家庭で話し合うことなどもできるのではないか。
高田委員	共働き世帯が多いと難しいことが多い。
北野委員	食育や農業の観点から、田植え体験や稲刈り体験など、農業の大切さと食の重要性を伝える取組は平時から行っている。集客という点については、JA レーク滋賀にも広報誌があるので、市とタイアップし、農家や組合員にこういうイベントがあるということを啓発することは可能。取組を盛り上げていきたいとは考えている。
福田副会長	市として JA レーク滋賀の力を借りてもよいのではないか。
事務局	7月 29 日に実施するモリーブのセントラルコートでの推定野菜摂取量測定イベントでは、JA レーク滋賀とコラボさせていただく。市としても一つのテーマに限定すると集客が見込めないなので、様々な団体と連携することが大事だと考えている。
岡本委員	歯科医師会としての直接の働きかけは難しい。個人の医院にチラシを配架することは可能。BIWA-TEKU の取組は目を引くものなので、

	<p>患者の方に待ち時間に見てもらえれば、健康について考えを持っている人が医院を訪れているので、啓発につながるのではないかと。チラシの配布、掲示は歯科医師会として協力させていただく。</p>
福田副会長	<p>医師会としても同じような意見になる。今回の健（検）診のまとめの通知は分かりやすく、がん検診、特定健診、歯科健診が一覧で分かるというのは非常に良い。</p> <p>ただ、女性のがん検診啓発については、子宮頸がんも乳がんも、もう少し対象年齢を下げているのではないかと。子宮頸がんはワクチンが絡んでくるので、1世代下げていると考えている。</p>
岡村会長	<p>BIWA-TEKU、推定野菜摂取量測定イベントについては、関係団体と話をしながら、周知していくことが大事である。</p> <p>子宮頸がんの啓発については年齢層を下げていくことは一案である。成人年齢が18歳なので18歳からにするのか、15歳から16歳にするのか。ワクチンの関係もあるので15歳から17歳で検討してもよいのではないかと。効果の検証がYouTubeやInstagramの視聴回数になっているが、評価としては分かりにくい。最終評価をする際に、わかりやすいものとするように。</p>
福田副会長	<p>適正な評価をしなければ実施した意味がなくなるので、ぜひとも評価も大事にしていきたい。</p>

イ 歯周病予防のための取組について【歯科部会】

発言者	内容
事務局	資料2について説明
岡本委員	<p>歯科健診受診者は少しずつ増えている。受診者数を延ばすことが重要で、様々な施策を実施しているが、受診者が劇的に増えるまでには至っていない。</p> <p>国民皆歯科健診も国から言われたが、全容はわかっていない。ただ、歯科健診は必要なことであり、全身と歯周病の関係についても言われている中で、少しでも広く周知していきたいと考えている。50歳代以降の受診者が減ることなので、50歳代にどうアプローチしていけばよいかのご意見をいただきたい。</p>
岡村会長	歯科の場合、自ら健診に行かれる方はどれくらいなのか。
岡本委員	<p>市内でどれくらいの方が健診に来られているかなどの数値は出ていない。ただ、自院の例では、治療と健診を分けて考えると、健診の方が圧倒的に多い。1か月に1回の方や、3か月に1回のペースで10年以上通われている方もいる。歯の大切さを知った方には継続して来ていただけたらと思う。</p> <p>すでに来られている方がさらに健診にも来られる方はいるが、今まで歯科健診に来ていない人の誘導が課題である。</p>
岡村会長	<p>ナッジの方法にもよるが、実質的に来られている方の状態はかなり良く、これくらいの方が来られているなど、情報の伝え方を考える必要がある。これだけの方が来られていないという数字だけをみると衝撃的である。どのように啓発するのか、情報の流し方が大事である。自主的に来られている方は特別なことをしているわけではないということを知れる等、どう伝えていけたらよいか重要ではないか。</p>
雁金委員	<p>私個人としては歯医者には痛くなるまで行かないという認識である。しかし、1回通うと継続して受診するようになる。一般の方にとっては、歯科健診は我慢ができない状態になってからではないだろうか。できるだけPRが重要であると思う。</p>
富田委員	令和3年度の数値が特に低い理由として、新型コロナウイルス感染症の流行で検診には行きにくい印象を持たれた高齢者がいたのではないか。
福田副会長	令和3年度についてはそれで間違いないと考えている。
富田委員	また、マスクをしていると入れ歯を入れなくてもよいので、マスク

	を取ると歯を入れていないという方にお会いすることがあった。
福田副会長	若い世代は歯に対して小さい頃から教育されてきているが、50歳代以上は歯の教育を受けていない世代になる。50歳代以上の世代を教育しないと何年経っても同じ状況が続く。これから先のことを考えて教育していく必要があり、歯科医師会の協力の下、歯や歯周病についての啓発をしっかりと推進する必要がある。
富田委員	自治会ですこやかサロンを実施する際に、すこやか生活課から歯科衛生士さんに来てもらって高齢者を対象に歯についての話をさせていただく取組がある。
福田副会長	そのような取組をどんどん進めてもらいたい。 在宅診療においても、歯科医師との連携を強化する方向でいる。歯がしっかりしていると飲み食べがしっかりできて、栄養がしっかり入ってくる。在宅診療にとっても歯科は重要である。市民に近い、民生委員・自治会の力が大事になってくると考えている。
高田委員	学校では年1回に歯科健診を法に基づいて実施しており、歯周疾患があれば指導している。ブラッシング指導は幼稚園・小学校から啓発している。 継続的に健診に行っているが、ある時忘れてしまうと行かなくなってしまうケースがある。一度忘れてしまうと行きにくくなる印象なので、継続しやすくなる工夫が必要である。
岡本委員	出前講座をすこやか生活課が中心となって、研修会を開催されているなど、あちこちで啓発はされている。歯科医師会としても、講師を派遣して実施している。そういった機会があれば、歯科医師会に相談していただければ積極的に対応していきたい。
福田副会長	障害者の歯科も重要ではないか。障害者・障害児の歯の衛生状態を良くするのは大切だと思うが、その点はいかがか。
中井委員	対象になる方は何千人と思われるが、守山市身体障害者連合会に所属しているのは100人程度しかいない。5年前は200人程度いたが、年々減少している。 個人的には健康診査は毎年受けているが、歯科になると痛くないと足が遠のいてしまう。
小林委員	スポーツ推進委員としては、口内環境や歯周病等についての働きかけは今まで無かったと記憶している。個人的な考えだが、歯周病が糖尿病のリスクを高める、腸内環境を良好に保つという啓発は徐々に進んでいるが、さらに一段とした働きかけが必要である。

	<p>また、受診したいと思っても、どの歯科医院に行けばよいのか考える時がある。特定健診については市内の受診医院一覧が掲載されているが、歯科医院についても、健診先の医院一覧があるとよいのではないか。</p> <p>ただ、スポーツの仲間と月1回に会うが、歯が痛いという話を聞いた記憶が無い。</p>
福田副会長	<p>歯科医院一覧は作成していたと思うが。</p>
事務局	<p>歯科医院一覧は守山市地域医療介護マップにも一覧を設けており、すこやかセンターから配布しているセンターだよりも一覧を記載している。</p> <p>また、先程紹介した通知にも、特定健診は一覧表になっているが、すこやか歯科健診についてはホームページを見ていただくような形で、受診しやすいようにハードルを下げる工夫をしている。ご意見をいただきながら取り組んでいきたい。</p>
福田副会長	<p>スポーツと歯の関係はあるのではないか。</p>
岡本委員	<p>スポーツではコンタクトスポーツなどでは噛む力によって力を出すことがあるので、マウスガードを使用されている。また、奥歯がないと瞬発力が出ないとも言われている。ご存知の方は歯にも気を遣っている。</p>
福田副会長	<p>そういった点について、歯科の先生の話聞くのも面白いのではないか。</p>
岡村会長	<p>制度をどのように活用するかが重要である。元に戻ってしまうが、周知をどうするかということと、周知の仕方についても、どのようにしたら市民が動いてくれるのか、意見を聞きながら取組を決めていく必要がある。歯が重要であることには誰も反対しないと思うので、どのように浸透させていくかが課題である。</p>
福田副会長	<p>特定健診と同様に、どうやって周知していくかにかかってくる。各団体の意見をまとめて進めてほしい。</p>

ウ 健康関連計画の市民アンケート調査の実施について

発言者	内容
事務局	資料 3、3-1、3-2 について説明
岡村会長	これについては、事務局から説明があったように、幅広いものを評価していかないといけないため、多目的なものとなっている。資料 3 に今までの調査の継続性がどうなっているのか、新規の項目について整理されているが、現状の状態をみると、これぐらいの分量であれば過不足なく適切に入っている印象である。これ以上多くすると回答が大変であり、少なくしたからといって回収率が上がるわけでもないので、微妙なバランスの中で構成されていると考えている。様々な視点で見えていただいて、問題がなければこれでよいのではないか。
福田副会長	その他の「具体的に」はこのままの記載にするのか。その他の「具体的に」の欄を見ると、広い欄と狭い欄がある。狭いと記載しづらいのではないか。「具体的に」は、1 行で書けるようにしていただきたい。セクションごとに大きさが異なるのは理解できるが、何文字であるかを想定して作成していただきたい。
事務局	修正する。
福田副会長	歯科についてはいかがか。
岡本委員	特に問題ない。
雁金委員	2,000 人の方にアンケートをされるということなので、それで実際にデータが出るのであれば問題ない。
富田委員	特に問題はない。
藤本委員	項目は良いが、健康推進員はアンケート項目の全てに関わると考えている。総力を挙げて事業に取り組んでいき、市民のみなさんの健康が守れるような形で、これからも活動していきたいと考えている。
中井委員	特に問題はない。
小林委員	これでよいと考えている。
高田委員	幅広い範囲で聞かれており、よいのではないか。
北野委員	今までの計画に対するアンケート調査なのか、アンケート調査を踏まえて次期の計画に反映するのか。
事務局	これまで進めてきた計画の評価についてのアンケート調査になる。
北野委員	これまで市が行った計画に間違いがないかどうかの検証のアンケートということで、結果が年内に集計・分析が完了し、課題や問題

	点を踏まえて、令和5年度に次期計画の骨子を作っていく理解でよいか。
事務局	そのとおりである。
北野委員	設問については問題ないと考えている。
福田副会長	アンケート調査について現時点での意見を岡村会長にまとめていただきたい。
岡村会長	これで特に問題ない
福田副会長	本日の議題は全て終了とする。

(3) 閉会

次回の協議会は11月頃を予定。